










【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	奈良県
取組市町村名 取組団体・企業名	奈良市
取組の名称	フードバンクお仕事体験
実施時期	8月9日
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	 <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/>  <input checked="" type="checkbox"/>
取組内容	<p>奈良市はフードバンク事業の一環として、小学生を対象にしたフードバンクお仕事体験を実施し、今年度は子供6名保護者6名の12名が参加しました。</p> <p>前半は食品ロスと奈良市フードバンク事業についての説明を行い、後半は施設の見学と実際に寄附された食品を用いて配付のための食品仕分け体験を行いました。</p> <p>希望者には「子どもお仕事体験修了証書」を配布し、子ども達とその保護者への食育啓発を実施しました。</p> <div data-bbox="598 1608 1316 1953">  <p>こどもお仕事体験</p> <p>市フードバンクセンターを見学し、寄附された食品の活用方法を学びます。この機会に、みんなでSDGsについて考えてみませんか。</p> <p>【と き】8月9日(土) 午前10時～正午</p> <p>【と ころ】市フードバンクセンター(佐紀町)</p> <p>【定 員】小学生10組程度(保護者同伴要)</p> <p>【申 込】申込フォーム、電話かEメールに氏名、電話番号、子どもの参加人数を書いて、7月31日までにフードバンク奈良(☎0742-81-3666 Eメール: narashi.foodbank@gmail.com)へ</p> <p>【問合せ】子ども育成課(☎0742-34-4804)</p> <p>くわしくはこちら▶ </p> </div>

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	奈良県
取組市町村名 取組団体・企業名	御杖村 御杖村立御杖保育所
取組の名称	地域の方と交流しながら、米作りをする。
実施時期	5月末～1月中旬
取組内容に該当する 食育ピクトグラム (複数選択可)	<div> <input checked="" type="checkbox"/> 1 みんなで楽しく食べよう <input type="checkbox"/> 2 朝ごはんを食べよう <input type="checkbox"/> 3 バランスよく食べよう <input type="checkbox"/> 4 太りすぎないやせすぎない <input checked="" type="checkbox"/> 5 よくかんで食べよう </div> <div> <input type="checkbox"/> 6 手を洗おう <input type="checkbox"/> 7 災害にそなえよう <input type="checkbox"/> 8 食べ残しをなくそう <input checked="" type="checkbox"/> 9 産物を応援しよう <input checked="" type="checkbox"/> 10 食・農の体験をしよう </div> <div> <input checked="" type="checkbox"/> 11 和食文化を伝えよう <input checked="" type="checkbox"/> 12 食育を推進しよう </div>
取組内容	<p>・地域の方の田んぼをお借りし、お米の苗を観察して、子どもたちが自分で田植えをし、育てる。地域の方の田んぼは保育所から離れているが、散歩の途中で立ち寄ったりしながら、葉や茎が伸びる過程を見て、変化を友だちと共有し合う姿が見られた。収穫時には子どもたちが自分で鎌を使い稲刈りをし、干して乾かし脱穀の様子も観察。精米した米は七草がゆを保育所で調理し味わう。インフルエンザの流行などでまだ実施できていないが、自分たちでおにぎりを作り味わう予定もしている。自分の口に入るまで、いろんな工程があることを知り、大変さも感じてお米を大切にしようと感じる有意義な体験ができています。参加者は幼児組9名（乳児組は、活動する様子を見たり、かゆを食べたりして参加）</p>